

# 道元禅師のことば

# 「修証義」入門

仏教・思想

ありふく こうがく  
有福孝岳著

2025年4月刊行



道元禅師のことば

「修証義」入門

有福孝岳

道元がわかる  
仏教がわかる

道元「正法眼蔵」の真髄を抽出し編集した  
「修証義」の画期的入門書

法蔵館文庫 定価本体1000円＋税

道元の名著『正法眼蔵』の真髄をまとめた『修証義』の一文ごとについて、『正法眼蔵』との関係を明らかにしつつ、丁寧な解説を加えた画期的入門書。

▼文庫判・並製カバー・275頁・定価 一、二二〇円

## 【目次】

まえがき——『修証義』と『正法眼蔵』

一、『修証義』と『正法眼蔵』／二、『正法眼蔵』について／三、『正法眼蔵』の新しいテキスト／四、『正法眼蔵』の注釈書／五、『正法眼蔵』の現代語訳

『修証義』入門——『修証義』とはいかなるものなのか

一、『修証義』成立の経緯／二、『修証義』の構成と要旨

## 第一章 総序

第一節 生死の問題を明らかにする(総序1)／第二節 最善最勝の生き方(総序2)／第三節 無常の風と命のはかなさ(総序3)／第四節 因果応報と善悪の問題(総序4)／第五節 三時(現世・来世・来來世)と行為の帰結(総序5)／第六節 今生の我が身の大切さ(総序6)

## 第二章 懺悔滅罪

第七節 仏の慈悲の廣大無辺さ(懺悔滅罪1)／第八節 まごころと懺悔の功德力(懺悔滅罪2)／第九節 仏も昔は凡夫、私たちも未来は仏(懺悔滅罪3)／第十節 懺悔すれば、必ず仏の助けがある(懺悔滅罪4)

## 第三章 受戒入位

第十一節 仏道は仏法僧の三宝を敬うことから始まる(受戒入位1)／第十二節 三宝への帰依こそ解脱と菩提の基である(受戒入位2)／第十三節 三宝への帰依こそすべての戒の基本である(受戒入位3)／第十四節 三宝への帰依こそ最尊最上の功德である(受戒入位4)／第十五節 三つの誓願と十項目の行動指針(受戒入位5)／第十六節 仏のみ子の自覚としての受戒(受戒入位6)／第十七節 世界のすべては仏の声と姿の現れである(受戒入位7)

## 第四章 発願利生

第十八節 自己より先に他者を救う発菩提心(発願利生1)／第十九節 老若男女を問わない発菩提心(発願利生2)／第二十節 人を成

## 第五章 行持報恩

第二十六節 この世に生れ仏に出会う喜び(行持報恩1)／第二十七節 新しい教え(正法)にあうことを願う(行持報恩2)／第二十八節 人類は報恩感謝の念を忘れてはならない(行持報恩3)／第二十九節 日々の行持が仏恩感謝の正道である(行持報恩4)／第三十節 諸仏の行持も一日の行持から始まる(行持報恩5)／第三十一節 心がそのまま仏とどういふことか(行持報恩6)

あとがき

註

付録 『修証義』現代語訳・原文・出典一覧

文庫版あとがき

## ◆著者略歴

有福孝岳(ありふく こうがく)  
一九三九年山口県生まれ。一九六八年京都大学大学院博士課程単位取得。京都大学教養部助教授・教授、同総合人間学部教授等を歴任。二〇〇三年京都大学定年退官。ドイツ、ウィッパール大学客員教授(一九九一年夏期)。現在、功山寺住職、東亜大学客員教授、京都大学名誉教授、文学博士。  
著書に『道元の世界』『正法眼蔵の心』『正法眼蔵』に親しむ『行為の哲学』『カント「純粹理性批判」』『カント事典』(編著)『カント全集』(編著訳)など多数。

注文書		様冊	
(書店印)		ご担当	
有福孝岳著		法蔵館	
道元禅師のことば		定価 一、二二〇円	
「修証義」入門		【法蔵館文庫】	
ISBN: 978-4-8318-2693-0 C0115		ご住所	
お名前		お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp